土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一般県道　弁財天加計線　道路改良事業に伴う調査設計業務委託

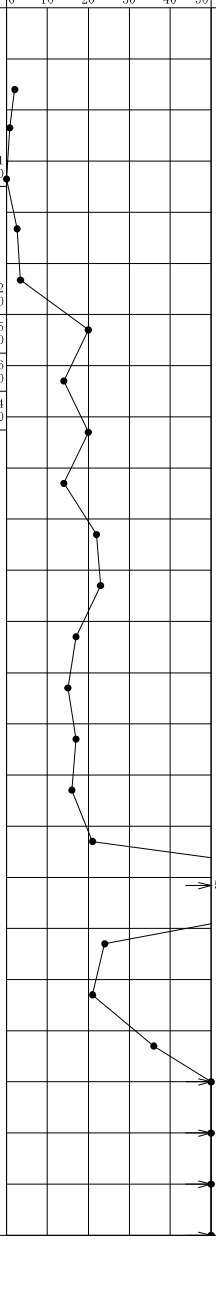
事業名または工事名

調査目的及び調査対象　道路　構造物基礎

ボーリング名	(R4)Bor.No.3	調査位置	広島県山県群安芸太田町土居			北緯	34° 34′ 34.72″
発注機関	広島県西部建設事務所安芸太田支所			調査期間	令和04年10月20日～令和04年11月01日	東経	132° 14′ 33.12″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. 279.25 m	角度	0°	方位		地盤勾配	0°	使用機種	試錐機	東邦DO-D
総削孔長	37.00 m								エンジン	ヤンマーTF-90M型	ポンプ	東邦BG-3C

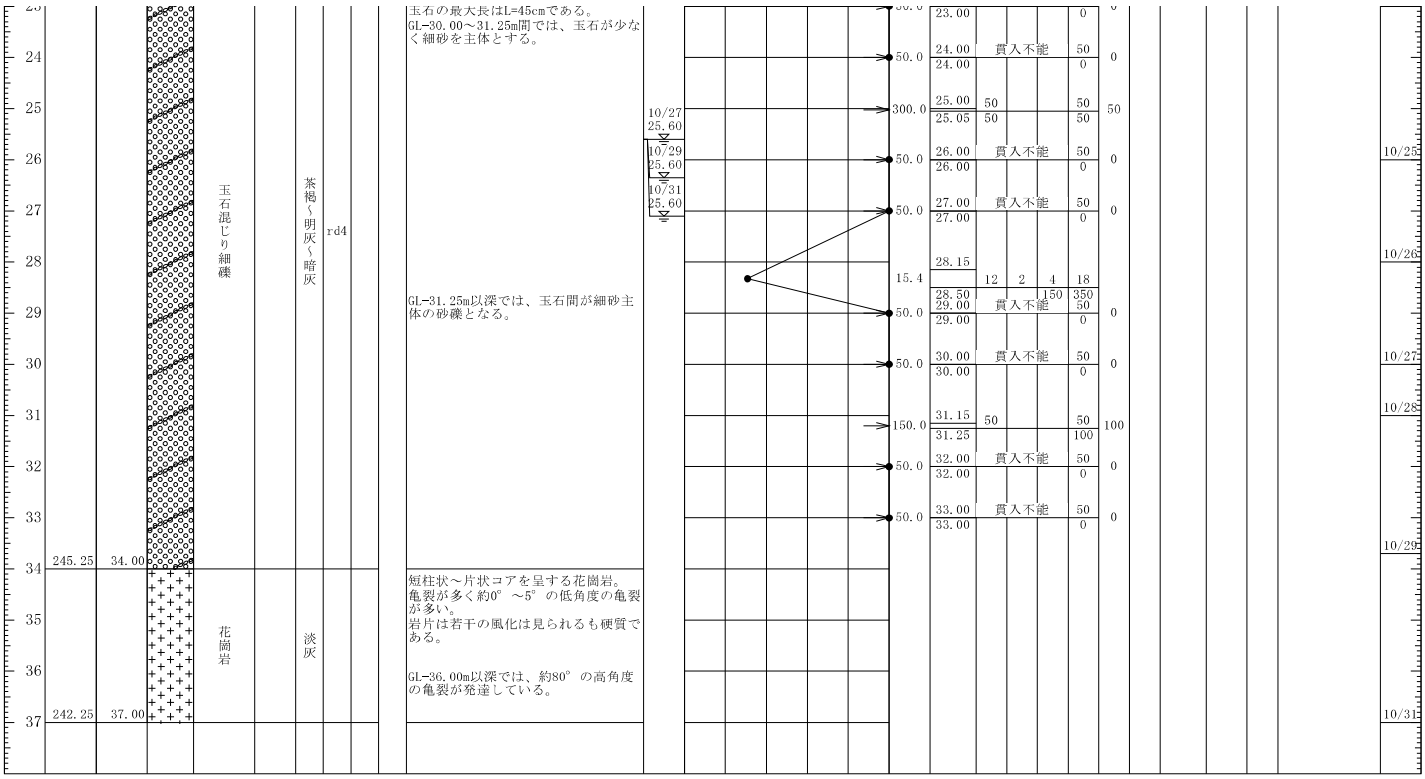
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定年月日
	275.75	3.50		表土		暗茶～黒茶	rd1		草根を多く含む耕作土。 細砂を主体とし非常にゆるい。 GL-0.00～0.50mでは1cm超の礫を多く含む。 GL-2.00～3.50mまでは有機質土分が顕著である。	10/21 3.50
	273.25	6.00		細砂		茶褐	rd1		細砂を主体とするまさ土。 固結度がゆるく指圧で容易に凹む。	10/22 6.00
	258.45	20.80		粗砂	SG-F	茶褐	rd3		粗砂を主体とするまさ土。 固結度がゆるく指圧にて容易に凹む。 礫を少量含み、礫径は2mm～1cm程度である。 GL-11.50m、GL-17.20mに玉石を含む。 礫、玉石は花崗岩であり、亜角礫である。	10/25 6.00 10/26 6.00 10/24 6.40
									花崗岩とひん岩の玉石を含む玉石混じり砂礫層。 固結度は指圧にて崩れる程度である。 玉石の径は岩片状～短柱状までばらつきがある。 玉石・礫の多くは亜角～亜円状を呈するが、中には円礫も含まれる。 玉石の最大長はL=45cmである。 GL-30.00～31.25m間では、玉石が少なく細砂を主体とする。	

標準貫入試験



N値	深度 (m)	100mごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
2.0	1.45	1	1		2		
	1.75	150	150		300		
0.8	2.15	1			1		
	2.55	400			400		
0	3.15	0			0		400
	3.55	400			400		
2.6	4.15	1	1	1	3		
	4.50	150			350		
3.4	5.15	2	1	1	4		
	5.50		150		350		
20.0	6.15	6	7	7	20		
	6.45				300		
14.0	7.15	4	5	5	14		
	7.45				300		
20.0	8.15	8	5	7	20		
	8.45				300		
14.0	9.15	3	3	8	14		
	9.45				300		
22.0	10.15	7	8	7	22		
	10.45				300		
23.0	11.15	6	7	10	23		
	11.45				300		
17.0	12.15	5	6	6	17		
	12.45				300		
15.0	13.15	4	5	6	15		
	13.45				300		
17.0	14.15	5	5	7	17		
	14.45				300		
16.0	15.15	5	5	6	16		
	15.45				300		
21.0	16.15	5	7	9	21		
	16.45				300		
500.0	17.15	50			50	30	
	17.18	30			30		
24.0	18.15	7	8	9	24		
	18.45				300		
21.0	19.15	5	7	9	21		
	19.45				300		
36.0	20.15	10	15	11	36		
	20.45				300		
50.0	21.00	貫入不能			50	0	
	21.00				0		
50.0	22.00	貫入不能			50	0	
	22.00				0		
50.0	23.00	貫入不能			50	0	
	23.00				0		
50.0	24.00	貫入不能			50	0	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔日
6.15	P-1	-	比重含水粒度	10/20
6.45				
7.15	P-2	-	比重含水粒度	
7.45				
8.15	P-3	-	比重含水粒度	
8.45				
9.15	P-4	-	比重含水粒度	
9.45				
10.15	P-5	-	比重含水粒度	
10.45				
11.15	P-6	-	比重含水粒度	
11.45				
12.15	P-7	-	比重含水粒度	
12.45				10/21
13.15	P-8	-	比重含水粒度	
13.45				
14.15	P-9	-	比重含水粒度	
14.45				
15.15	P-10	-	比重含水粒度	
15.45				
16.15	P-11	-	比重含水粒度	
16.45				
17.15	P-12	-	比重含水粒度	
17.18				
18.15	P-13	-	比重含水粒度	
18.45				
19.15	P-14	-	比重含水粒度	
19.45				
				10/22
				10/24


玉石の最大長はL=45cmである。
GL-30.00～31.25m間では、玉石が少なく細砂を主体とする。
GL-31.25m以深では、玉石間が細砂主体の砂礫となる。
玉石混じり細礫
茶褐～明灰～暗灰
rd4
短柱状～片状コアを呈する花崗岩。
亀裂が多く約0°～5°の低角度の亀裂が多い。
岩片は若干の風化は見られるも硬質である。
GL-36.00m以深では、約80°の高角度の亀裂が発達している。
花崗岩
淡灰
245.25
34.00
242.25
37.00
10/27
25.60
10/29
25.60
10/31
25.60
貫入不能
10/25
10/26
10/27
10/28
10/29
10/31